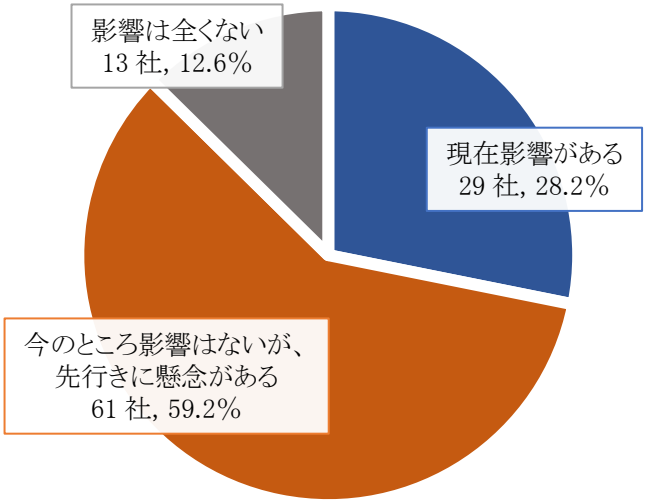
ロシアによるウクライナ侵攻に関する影響調査

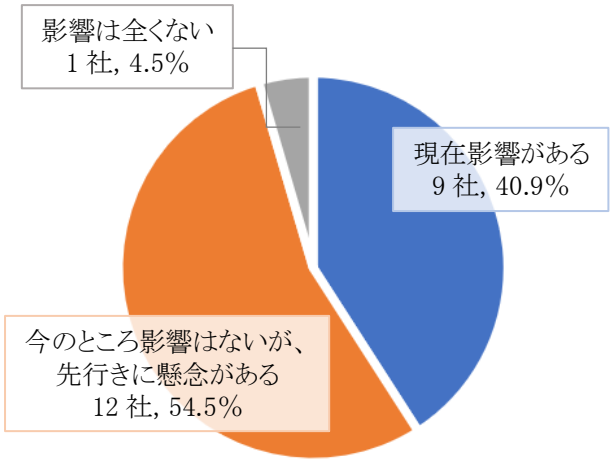
ロシアによるウクライナ侵攻による北見市内企業への影響（売上・仕入れの減少、調達コストの上昇等）について調査を実施した。

調査はインターネット（Google Forms）によって行った。

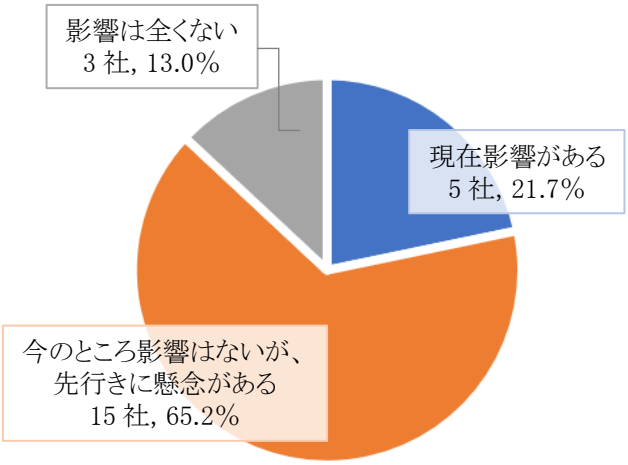
業種別の影響



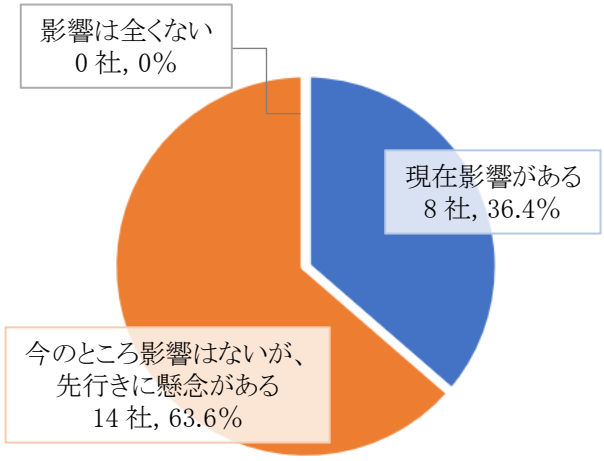
全　体



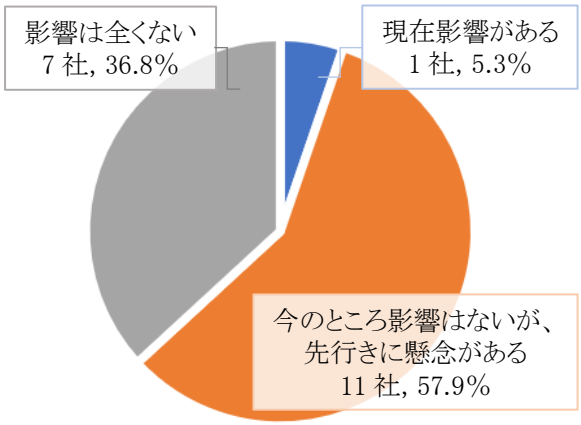
製造業



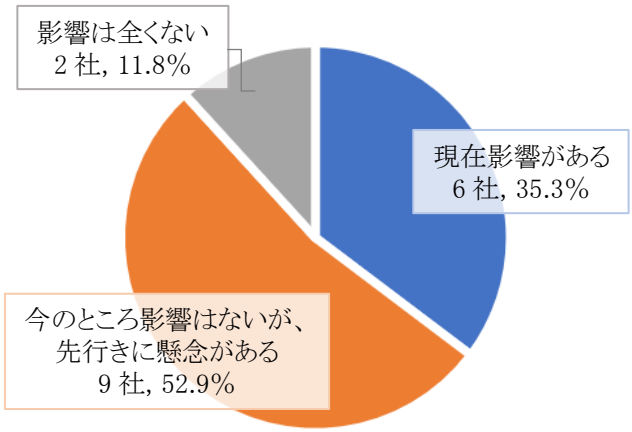
建設業



卸売業



小売業



サービス業

ロシアによるウクライナ侵攻により、売上・仕入れの減少、調達コストの上昇等への「影響がある」が全体で２８.２％、「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」が５９．２％、「影響は全くない」が１２．６％で、合計８７．４％の事業所が経営への影響を懸念していることが分かった。

また、業種別でみると「影響がある」、「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」と回答した合計割合がそれぞれ卸売業で１００％、製造業で９５．５％、サービス業で８８．２％、建設業で８７．０％、小売業で６３．２％と各業界で経営への影響があると示し、原油高騰および原材料高騰による利益圧迫や、資材や部品の調達への影響等が挙げられた。

具体的な影響について

①燃料の影響

〇電気代が上がると経営は困難を極める。（製造業、他２件）
〇エネルギーコストの増大。原材料全般の高騰（製造業、他２件）
〇原油価格の上昇により、原材料などあらゆる物の価格上昇が大幅にあり、顧客に価格転嫁せざる負えない状況にある。理解してくれる顧客もあるが、今後販売価格の値上げによる顧客の流出が懸念される。（製造業）
〇運賃等の値上げが懸念（製造業）
〇原油価格の高止まりによるガソリン・軽油の高騰（建設業、他３件）
〇燃料代の高騰、輸送コストがかかる。（卸売業、他２件）
〇原油価格上昇、輸送費増（小売業、他１件）
〇光熱費の上昇、原油高騰によるランニングコスト増（サービス業、他４件）

②資材・仕入れへの影響

〇調達コストの上昇（製造業、他４件）
〇建材の輸入がロシア経由の物があり、調達が難しくなると予想される。（製造業）
〇ロシア産木材が全く入ってこなくなったが、他産地のものでまかなえている。（製造業）
〇包装資材のコスト・油製品のコストが増えた。（製造業）
〇ニッケルマンガンの不足による鉄系材料の高騰（製造業）
〇原材料のさらなる高騰、原材料の調達難（建設業、他４件）
〇購入資材の納期遅れ（建設業）
〇物流の悪化、原材料高騰、品不足（卸売業、他４件）
〇プラスチック製品の値上がりによる商品価格の値上げが予想される。（卸売業）
〇輸入品等の値上げ（卸売業）
〇小麦粉の値上げ・入出荷規制など（卸売業）
〇食材、資材などの調達コスト増加、入船遅れによる在庫不足（卸売業）
〇仕入価格の高騰、供給不安定（小売業、他２件）
〇石油製品の部品の価格上昇（小売業）
〇製品の入荷状況に影響が及ぶ可能性があり不安（小売業）
〇原材料が輸入なので航空便など物流に不安あり（小売業）
〇資材の高騰（サービス業、他５件）
〇納入食材、資材すべてが値上がりする予定（サービス業、他１件）
〇食材や容器包装類など原材料費の増（サービス業）
〇部品等の入荷停止を懸念（サービス業）

③その他

○活動停滞による収益減少（建設業）

○原材料価格の騰勢によるメーカーの値上げが、需要の減少につながる（卸売業）

○売価の上昇（小売業）

○景気悪化（サービス業）

○ウクライナの人々、世界に及ぼす経済状況、特に日本経済、円安などについては心配（サービス業）

○ロシアによる無意味ウクライナ侵攻が早く終結、世界的経済が元に戻ってほしい。

○一昨年から配合飼料の価格が急上昇している中、今回のロシアのウクライナ侵攻で、世界的に原油、小麦などの高騰により、配合飼料の価格上昇する要因が大きく、畜産農家の離農や廃業が増えてくるのではないかと推測される。